

平成27年度
事業報告書

公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会

目 次

| | |
|------------------|------|
| 平成27年度事業報告 | 1 |
| I 事業の概要 | 2～8 |
| 1. 入園者数 | 2 |
| 2. 公益目的事業 | 2～6 |
| 3. 収益事業 | 7～8 |
| II 機関運営等 | 8～10 |
| 1. 組織体制 | 8 |
| 2. 評議員会・理事会の開催状況 | 9～10 |
| 事業報告の附属明細書 | 11 |

平成27年度事業報告

自 平成27年4月1日

至 平成28年3月31日

「自然を楽しむ公園づくり」「スポーツを楽しむ公園づくり」「だれもが楽しめる公園づくり」「にぎわいの拠点となる公園づくり」「地域との連携による地域の活性化」を基本方針に公益法人として一層の使命感と責任感を持って、スポーツ推進事業、自然文化事業、自然文化・スポーツ振興支援事業を展開し、安定した経営確保にも努めながら公益目的事業を積極的に推進しました。

スポーツ事業では、レディーススポーツデー、テニス教室をはじめとした各種教室やグラウンド・ゴルフのつどい等子育て世代から高齢者まで府民がスポーツに親しむ場をつくり、グラウンド・ゴルフ大会、テニス大会等を開催してスポーツの普及・振興や地域交流を図りました。平成25年度に開始した障がい者スポーツ交流大会は、今年度も亀岡以北福知山までの障がい者団体等に呼びかけ多くの参加をいただき定着化してまいりました。また、冬季における利用者拡大を図ることやスポーツ団体のトレーニングの場として活用いただくことを目的に取り組んできたクロスカントリー大会も6年目となり、リピーターの参加も多く見られました。

文化事業では、丹波自然運動公園や近隣の自然を活かした天文教室やキノコ教室、摘み菜教室や親子、高齢者が一緒に学ぶ手作り教室を開催して毎日の暮らしを楽しんだり、地域の交流、活性化を図ることができました。

地域との連携事業では、公園と地域を幅広くフィールドにした取り組みを展開し、関係団体や地域住民と協力して公園を拠点とした地域ぐるみの活動に発展させることに努めました。平成27年度も「丹波ちびっこまつり」「森のバザール」「2015京都丹波ロードレース大会」「京都丹波ふるさと特産展うまいもの市」「あっぱれたんぼ」「京丹波●食の祭典2015」等をはじめ数多くのイベントを開催し、ご来園の方々に楽しんでいただくことができました。恒例となったタケノコ堀りやカブトムシの幼虫観察等は、地元の幼稚園児や保育所の幼児に自然に親しむ機会を、園内の大木を利用したツリーライミング教室では、子どもたちにチャレンジする機会や木に親しむ機会を提供でき好評でした。

施設の管理運営では、京都縦貫自動車道が7月に全線開通したことにより当園の来園者が増加したため、これまで以上に利用者が安心安全にご利用いただくことをモットーに職員一人ひとりが危機感を持って事故防止に努めました。

また、京都府が推進する節電対策として「クールスポット事業」の推進にも大きな役割を果たすことができました。平成26年4月に供用開始したナイター設備も徐々に定着してまいりました。

丹波自然運動公園は、災害時の防災拠点として指定されていることから有事の際には当法人も全面的に協力できる体制を備えました。

今後も、「にぎわいのある公園」を目指して、府民のニーズを取り入れながら地域交流の場及び府民の憩いの場として、公益目的事業を推進するとともに、安心・安全で快適な空間を提供し、豊かな「スポーツライフ」及び自然文化と親しむライフスタイルの確立に努めてまいります。

I 事業の概要

京都府との指定管理基本協定（平成24年4月1日）に基づき京都府立丹波自然運動公園における各施設の管理運営、スポーツ振興事業、自然文化推進事業及び自然文化・スポーツ振興支援事業、地域振興事業などの公益目的事業及び収益事業を行った。

本年度の主な事業概要は、次のとおりである。

1. 入園者数

| | |
|--------|----------|
| 総入園者数 | 579,828人 |
| 運動施設 | 376,170人 |
| フリーゾーン | 203,658人 |

入場者総数は、春、秋のイベント時、夏のプール開園時に天候に恵まれたことが大きく影響して昨年に比べ8.3%の増員となった。

2. 公益目的事業

(1) スポーツ振興事業

施設の有効活用をはかりながら、府民の健康づくりや豊かなスポーツライフの実現を目的に多種多様なプログラムを設定し、誰もが気軽に参加できるスポーツの場として地域のスポーツ振興を促す事業

1) スポーツ教室

基本技術の習得と仲間との交流を広げるきっかけづくりの場を提供するとともに保育ルームを設置し子育て世代の女性が参加しやすい環境作りを企画した。

今年度の保育ルーム利用人数は134名あり、子育て中の女性からは、安心してスポーツができると大変好評を得た。

地域交流、スポーツの普及・振興を目的

| 事業名 | 回数 | 人数 |
|-------------|----|--------|
| レディーススポーツデー | 37 | 723人 |
| テニス教室 | 32 | 548人 |
| 太極拳教室 | 23 | 282人 |
| サッカー教室 | 1 | 67人 |
| ツリークライミング教室 | 3 | 157人 |
| 合計 | | 1,777人 |

2) スポーツ振興・レクリエーションの普及

世代を問わずスポーツを楽しむ機会をつくとともに、利用者の親睦を深め、地域交流の活性化を図り、活力ある体力づくりの増進に寄与した。

地域交流、スポーツの普及・振興を目的

| 事業名 | 回数 | 人数 |
|---------------|----|--------|
| テニス大会 | 3 | 292人 |
| グラウンド・ゴルフ大会 | 4 | 1,281人 |
| ゲートボール大会 | 2 | 167人 |
| ソフトバレーボール大会 | 1 | 79人 |
| クロスカントリー大会 | 1 | 140人 |
| 障がい者スポーツ交流会 | 1 | 96人 |
| エンジョイテニス | 45 | 537人 |
| スポーツを楽しむ日 | 11 | 63人 |
| グラウンド・ゴルフのつどい | 32 | 1,072人 |
| 障がい者スポーツのつどい | 11 | 101人 |
| 合計 | | 3,828人 |

(2) 自然文化推進事業

公園の持っている豊かな自然的条件を最大限生かして、心豊かで質の高い生活を送り、毎日の暮らしを楽しみ、文化と親しむライフスタイルの確立に貢献した。

心身の健全な発達、豊かな人間性を涵養することを目的

1) 文化教室

| 事業名 | 回数 | 人数 | 備考 |
|----------|----|--------|-----------------|
| 摘み菜教室 | 2 | 23人 | 野草の採取と料理 |
| キノコ教室 | 1 | 19人 | キノコの見分け方 |
| 手作り教室 | 3 | 51人 | ミニ椅子、望遠鏡、しめ縄づくり |
| ガーデニング教室 | 2 | 39人 | 季節の寄せ植え |
| 天文教室 | 6 | 96人 | 月、星座観望 |
| 天体観測 | | 1,504人 | |
| 合計 | | 1,732人 | |

2) 自然体験

近隣地域と協働し農業体験等を通して、地産地消、子どもたちの食育、人々とのつながりなどを考える機会を提供した。

心身の健全な育成を目的

| 事業名 | 回数 | 人数 | 備考 |
|----------|----|------|---------------------|
| あっぱれたんぼ | 1 | 244人 | 田植え |
| | 1 | 238人 | 稲刈り、収穫体験 |
| 職場体験 | 1 | 6人 | 近隣中学校生涯学習(3日間) |
| | 1 | 280人 | 地元小学校総合学習 |
| 親と子の山村体験 | 1 | 18人 | 1泊2日で稲刈り、キャンプファイヤー等 |
| 合計 | | 786人 | |

3) 作品展示

近隣の愛好家の作品を展示するとともに栽培方法等の情報交換の場としての役割も果たした。近隣をはじめ広く来園者に楽しんでいただくことで地域の活性化にも繋がった。

地域社会の健全な発展を目的

| | | |
|----------|-----|----------------------------|
| さつき・山野草展 | 日時 | 平成27年5月29日(金)～31日(日) |
| | 入場者 | 260人 |
| | 内容 | 丹波地域のサツキ・山野草の愛好家の作品展示と情報交換 |
| 菊花展 | 日時 | 平成27年10月24日(金)～11月3日(火) |
| | 内容 | 丹波地域の菊の愛好家及び公園の作品展示と情報交換 |

4) イベント

スポーツだけでなく公園の四季折々の美しさ、楽しみ方を知っていただくためにイベントを開催し、より多くの人々に来園いただきことを目的に実施した。実施に当たっては、様々な活動団体と連携・協働して、地域の公園としての位置づけを確立し、地域振興・地域の活性化に積極的に参画した。

地域社会の健全な発展を目的とする事業

| | | |
|-----------|-----|--|
| 丹波公園はるまつり | 日時 | 平成27年4月11日(土)～12日(日) |
| | 入場者 | 7,020人(12日はバザールと同日開催) |
| | 内容 | 桜の開花に合わせ地元商工会等と協働実施 南丹船井レクリエーション協会と連携した遊びのコーナー ステージイベント、警察の展示・啓発コーナー 地域交流、心身の健全な育成を目的 |

| | | |
|-----------------------|-------|--|
| 森のバザール | 日 時 | 平成27年4月12日(日)(はるまつりと同日開催) 平成27年9月22日(火・祝) |
| | 入 場 者 | 7,300人(9月) |
| | 内 容 | 手作り品の市、野外ライブ 地域の活性化、地域社会の健全な発展を目的 |
| 丹波ちびっこまつり | 日 時 | 平成27年5月5日(火・祝) |
| | 入 場 者 | 26,000人 |
| | 内 容 | 金魚つかみ、遊びのコーナー、スポーツコーナー、乗馬体験、小動物コーナー、ツリークライミング、ステージイベント等 京都府警察音楽隊の演奏 南丹船井レクリエーション協会、府立高校、フライングディスク協会等と連携 地域交流、児童の健全な心身の育成を目的 |
| あっぱれたんぼ | 日 時 | 平成27年5月31日(日)～10月4日(日) |
| | 入 場 者 | 11,290人 |
| | 内 容 | 近隣地域と協働し、田んぼにアートする 田植え、成育期間中の観望、稲刈り、黒豆収穫体験、案山子展示 地産地消、食育教育の実践 心身の健全な育成、地域社会の健全な発展を目的 |
| 京丹波・食の祭典 | 日 時 | 平成27年10月25日(日) |
| | 入 場 者 | 15,150人 |
| | 内 容 | 京丹波町の食材PR、地元産品を使用した料理・加工品の即売 地域住民の交流、地域社会の健全な発展を目的 |
| 丹波公園まつり | 日 時 | 平成27年11月3日(火・祝) |
| | 入 場 者 | 26,800人 |
| | 内 容 | 京都丹波ロードレース大会、京都丹波ふるさと特産展うまいもの市、ツリークライミング教室 南丹船井レクリエーション協会、府立高校等と連携した遊びコーナー スポーツ振興、地域社会の健全な発展を目的 |
| 京丹波熱気球 フェスティバル2015 | 日 時 | 平成27年8月15日(土)～16日(日) |
| | 入 場 者 | 865人 |

| | | |
|--|-----|---|
| | 内 容 | 熱気球体験搭乗、熱気球のライトアップ ^o 、熱気球教室を関係団体と共催 地域交流、児童の健全な心身の育成を目的 |
|--|-----|---|

5) サポーター事業

公園の環境整備を府民みんなの手で美しくするとともに公園への愛着、また参加者の生き甲斐づくりの場として事業を展開した。

地域の交流、地域社会の健全な発展を目的

(3) 自然文化・スポーツ振興支援事業

1) 運動施設等の公益目的貸与

スポーツ目的での利用者に運動施設の貸与並びに健康で文化的な生活を推進するため文化活動等を行う利用者に公園施設を貸与した。

スポーツ振興・心身の健全な育成及び地域社会の健全な発展を目的

| 施設名 | 利用人数 |
|-------------|----------|
| 陸 上 競 技 場 | 67,274人 |
| 補 助 競 技 場 | 64,519人 |
| テニス・バレーコート | 81,933人 |
| 軟 式 野 球 場 | 33,561人 |
| 体 育 館 | 53,853人 |
| 球 技 場 | 41,733人 |
| 運 動 施 設 合 計 | 342,873人 |

| 施設名 | 利用人数 |
|-------|--------|
| 天 文 館 | 1,600人 |

2) 宿泊施設の公益目的貸与

公益目的に合致する公園利用者に対して宿泊施設を貸与した。

スポーツ振興・心身の健全な育成及び地域社会の健全な発展を目的

| 施設名 | 利用人数 |
|-------|---------|
| 宿 泊 所 | 23,166人 |

3) 施設の管理運営事業

安全・安心な公園を目指し、府民に親しまれる健全で快適な公園環境の維持管理を行うとともに、防災拠点として有事の際にその機能が最大限発揮できるよう行政との連携に努めた。

3. 収益事業

(1) 収1事業

1) 給食業務事業

宿泊施設利用者にバイキング形式で普通食を提供し、地元食材を使用しながら利用者のニーズに合わせて特別食の提供も行った。また、一般施設利用者への弁当を中心とした大量の昼食提供を、保健所の指示を得ながら衛生に十分注意して実施した。

今年度は、南丹広域振興局、京都丹波・食と森の交流協議会、地元関係者と連携して北京大学留学生農業体験の受け入れを実施した。また、管理栄養士による年齢層に応じた食育を行い食に関する大切さについて講演を行った。

2) 喫茶、売店等業務事業

売店は、宿泊所のロビー及び中央管理棟喫茶室に設けたほか、中央管理棟にある喫茶室では地元食材を使ったメニューを提供し、南区域にレストハウス及び売店を開設し（プール開園期間中）利用者へのサービスに努めると共に、公園利用者から要望の高いバーベキューも提供し、地場特産品を使用したメニューの提供・販売をした。

大会主催者からの要望で特設売店を多数開設し好評を得た。

3) 請負業務事業

京丹波・食の祭典をはじめ園内で行われた大会の会場設営業務を行った。園内に精通していることを強みに他の業者より、親切丁寧をモットーにサービスを提供しており、利用者には大変喜ばれた。

また、本年度より園外事業として道の駅「京丹波 味夢の里」の維持管理業務を行い、7月の京都縦貫道全線開通の時にはプレイベントならびに道の駅京丹波味夢の里プレオープンイベント会場設営業務を請け負った。

(2) 収2事業

1) プール管理運営

本年度のプールのオープン期間は7月15日（水）～8月31日（月）で、造波プールやウォータースライダーを備えたファミリープールの運営を行った。天候に恵まれたことにより連日たくさんの利用者でにぎわった。

京都府の施策による節電対策（クールスポット事業）により、平日はプール入場料を半額として営業した。また、京都府が指定する子育て応援パスポート事業の対象施設でもあり子育て世代を応援した。

利用者 29, 489人

2) パターゴルフ場の管理運営

パターのみで遊べる全18ホールの天然芝コースで起伏のある本格的なコースとなっている。

京都府が指定する子育て応援パスポート事業の対象施設であり、子育て世代の家族にも楽しんでいただいた。利用者 3, 808人

3) 施設の貸与

運動施設や公園利用者のために宿泊施設の貸与や各種イベント等開催のため公園の敷地を貸与しているが、これらのうち、当法人の公益目的に合致しないものの貸与。 宿泊施設利用者 512人

また、地元京丹波町の委託を受けて、町民の健康づくりに役立てるため健康器具を設置し貸与。 利用者 2, 326人

II 機関運営等

1. 組織体制

1) 役員等就任状況（平成28年3月31日現在）

評議員

| 役職名 | 氏名 |
|-----|------|
| 評議員 | 梶本正徳 |
| | 野間之暢 |
| | 北村優幸 |
| | 辻謙一 |
| | 伴田邦雄 |
| | 朝子照夫 |

役員

| 役職名 | 氏名 |
|------|------|
| 理事長 | 寺尾豊爾 |
| 副理事長 | 畠中源一 |
| 常務理事 | 岡本久 |
| 理事 | 岩崎雅寛 |
| | 野口久之 |
| | 姫野孝宏 |
| 監事 | 伊藤嘉信 |
| | 太田英生 |
| | 細野昭和 |

2) 事務局（平成27年3月31日現在）

| | | |
|---------|-------|--|
| 事務局長（1） | 参事（1） | 総務課（9） 管理課（11） 業務課（6） *非常勤（5）含む |
|---------|-------|--|

2. 理事会・評議員会等の開催状況

(1) 評議員会

1) 第1回評議員会 平成27年6月18日(木) 午後3時

決議事項

- ① 平成26年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業報告並びに決算書の承認について
- ② 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会役員及び評議員の選任について

2) 第2回評議員会 平成28年3月16日(水) 午後3時

決議事項

- ① 平成27年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業計画書及び収支予算書等について

(2) 理事会

1) 第1回理事会 平成27年5月28日(木) 午後3時

決議事項

- ① 平成26年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業報告並びに決算書の承認について
- ② 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会会計規程の一部変更について
- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会作業員就業規則の一部変更について
- ④ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会役員並びに評議員候補者の推薦について
- ⑤ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会評議員会の招集について

報告事項

- ① 職務執行状況の報告について

2) 第2回理事会

決議の省略 平成27年6月25日(木) 各理事執務場所

決議事項

- ① 理事長、副理事長及び常務理事の選定の件

3) 第3回理事会 平成28年3月3日(木)午後3時

決議事項

- ① 平成28年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業計画書及び収支予算書等について
- ② 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会常勤役員の報酬について
- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会評議員会の招集について

報告事項

- ① 職務執行状況の報告について
- ② 決算見込みについて

(3) 監事監査 平成27年5月20日(水)午後1時30分

- ① 平成26年度事業報告及び決算概要説明
- ② 平成26年度決算

事業報告の附属明細書

公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に掲載しているため作成しておりません。